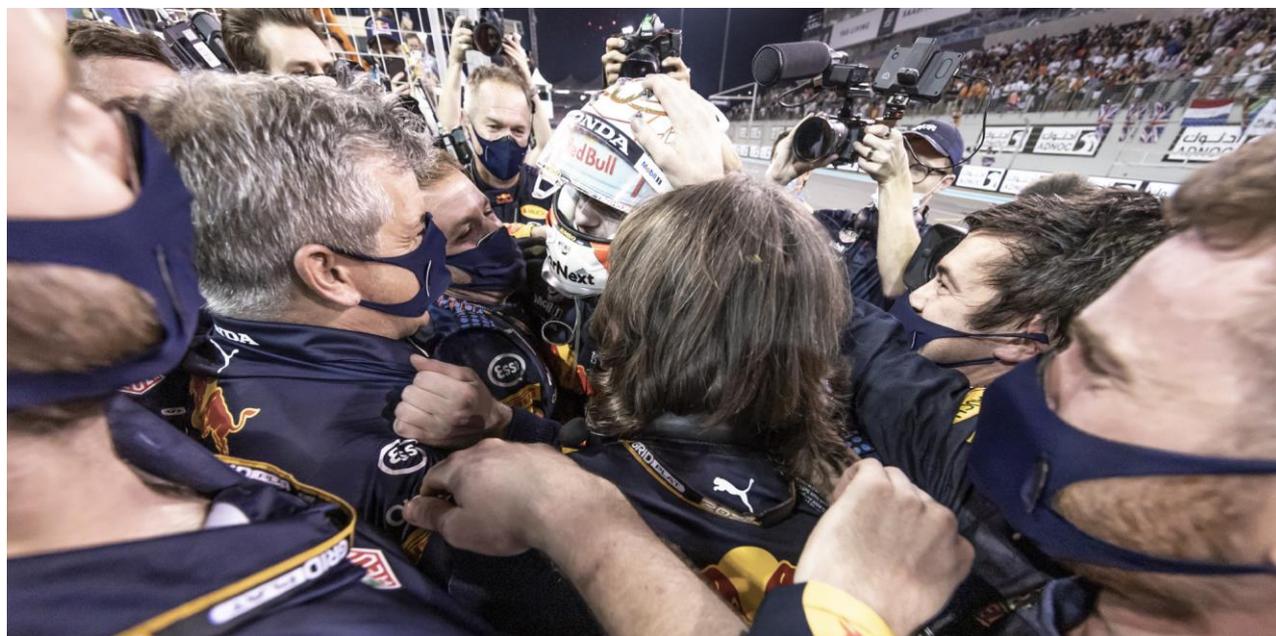


各 位

2022年3月3日
株式会社インプレス**30年ぶりの王座奪還！ ホンダ F1 の感動を記録した
熱田 護 写真集『Champion』を3月3日（木）に発売**

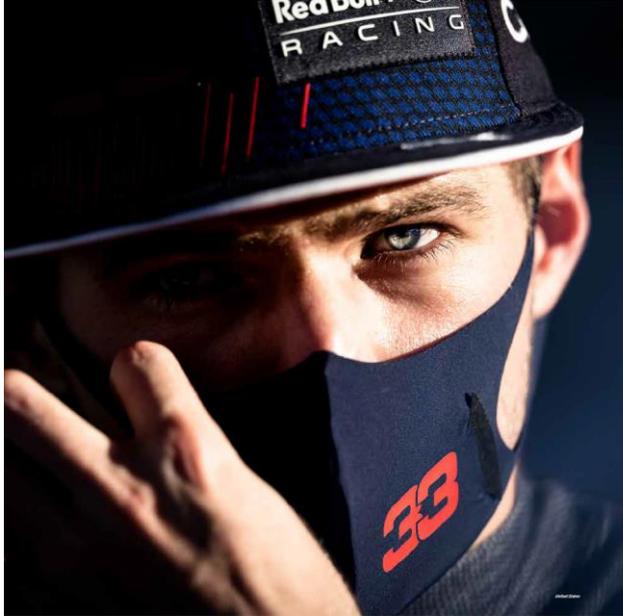
インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、2021年F1グランプリでのマックス・フェルスタッペン選手のワールドチャンピオンの獲得を記念した、熱田 護写真集『Champion』を2022年3月3日（木）に発売いたします。

**■B4変型の大型判／160ページの大ボリュームで激闘を繰り広げた2021年を振り返る**

2021年のF1グランプリはまれにみる激闘の1年でした。フェルスタッペン選手とハミルトン選手によるチャンピオン争いは熾烈を極め、2人の獲得ポイントは同点のまま最終戦を迎えるという展開となりました。その最終戦、しかも最後の周回でフェルスタッペン選手がハミルトン選手を抜いてチャンピオンに輝くという劇的な幕切れとなりました。この写真集では最終戦での感動はもちろんのこと、オレンジ色に染まったフェルスタッペン選手の地元オランダグランプリ、日本グランプリで走る予定だった特別カラーの「ありがとう」ホンダマシンなど、2021年の熱い戦いをグランプリの順で掲載しています。実際にテレビでレースを見ていた人も、当時の緊迫感、熱狂、感動を味わえる構成になっています。

■ホンダのマシンに乗るドライバー4人のインタビュー付き

2021年にホンダのPU（パワーユニット）を搭載したマシンは4台。その4台に乗るのはレッドブル・レーシング・ホンダのマックス・フェルスタッペン選手、セルジオ・ペレス選手、アルファタウリ・ホンダのピエール・ガスリー選手、角田裕毅選手になります。この4名に「ホンダについて」聞いたインタビューを掲載しています。一流ドライバーたちから見たホンダとはどのような存在だったのか。普段、私たちが見ているものとは違う、ホンダの献身的な働きを知ることができる、とても興味深い内容です。



ホンダは約束したことを必ず守り 勝つために限界を超えて挑戦する

ホンダのPU（パワーユニット）を搭載して初めて買った2019年は、開幕戦から結果が出るとは夢がなかった。だから、最初レーススタートエリア内で、走りながらエンジンを修理したことは、僕自身にとっても特別なことだった。ホンダにとっての10年時代になって初めての表彰台をプレゼントできて、僕はとてもうれしかった。

それから4カ月後のオーストリアGPで初優勝したときも同じだ。表彰台上上がる前、左側に倒壊されたF1のロゴマークを指差したのが、ホンダのリスタートだった。彼らは静かだけれども、強い情熱を持っていて、我々の仕事に取り組み、お互いの言葉を交わさなくても自分たちが何をすべきか分かっている。だから、僕も言葉ではF1のロゴマークを指差して、その仕事ぶりに感謝をした。田辺さんやシモン・シャワーを雇い入れたことは良い思い出になった。

僕がホンダに対して感謝していることは、彼らが約束を果たしてくれたことだ。ホンダの人たちはとても正直で、骨身をやす、約束したことを確実に守ってくれた。これはパートナーと一緒に仕事をしていくうえで最も重要なことで、僕たちの絆は年々と強まっていった。時には僕が何かアイデアを出すけど、彼らはすぐにそれに取り組んでくれたこともあった。いつも僕たちは一丸となって戦いに挑むようになっている。

ホンダは勝つためには何でもする。そこに限界はない。それは成長をするために大切なフィロソフィで、彼らがF1のシーズンに挑戦していた新時代のPU（パワーユニット）を1年試して投入してきたとき、僕は絶対にチャンピオンにならうと誓ったんだ。だって、僕がドライブしてきた中で最高のエンジンだからね。フィナルラップで、それを押さえることができずに敗れた。彼らが夢をかなえるのは、僕にとっても最高の瞬間だった。

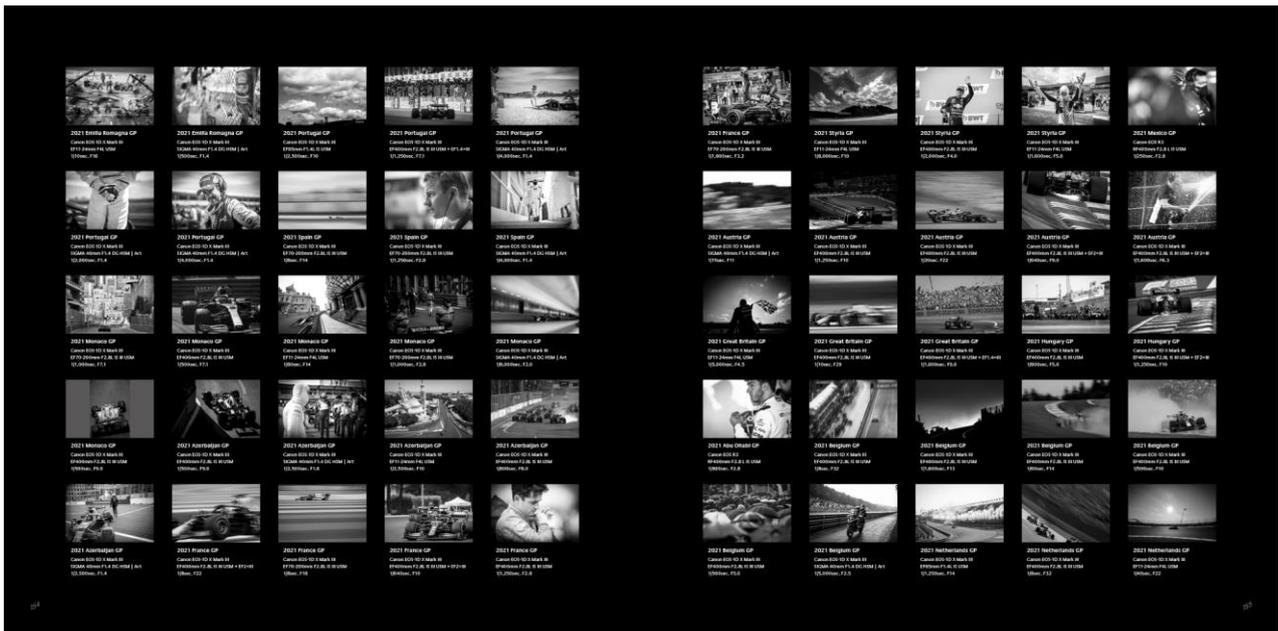
ホンダと一緒に仕事できたことに、僕は感謝の気持ちでいっぱい。

彼らこそ、真の勇者だ。

マックスフェルスタッペン

■どのようなカメラとレンズで撮ったのか分かる撮影データ付き

巻末には写真集の中に掲載されている写真の撮影データ「カメラ名」「レンズ名」「絞り値」「シャッター速度」を記載しています。アメリカグランプリからは話題の新型ミラーレスカメラであるキヤノン EOS R3で撮られた写真がメインになっています。撮影データを見つつ、写真の撮り方を想像して、自分の撮影に役立つ楽しみ方もできます。



■ ページイメージ



■書籍の詳細



書名：Champion

著者：熱田 護

発売日：2022年3月3日（木）

ページ数：160ページ（オールカラー）

サイズ：B4変形（257×257mm）

定価：4,400円（本体4,000円＋税10%）

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/429501334X/>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1121101102>

■著者プロフィール

あつた まもる：1963年、三重県鈴鹿市生まれ。東京工芸大学短期大学部写真技術科卒業。85年ヴェガ インターナショナルに入社。坪内隆直氏に師事し、2輪世界GPを転戦。92年よりフリーランスとしてF1をはじめとするモータースポーツや市販車の撮影を行う。主な写真集は『Turn In』（三樹書房）、『Time to say goodbye』（三樹書房）、『IGNITION』（TOKIMEKIパブリッシング）、『The F1 Spirit Takuma Sato』（二玄社）、『500GP』『Champion』（インプレス）など

日本レース写真家協会（JRPA）会員、日本スポーツ写真協会（JSPA）会員

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計7,500万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しています。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。